

エコクリーンプラザみやざき 排出源等及び環境モニタリング調査結果について (平成25年 3月調査分)

(公財)宮崎県環境整備公社では、エコクリーンプラザみやざきの安心・安全な施設運営が行われていることを確認するために、公害防止協定に基づき、モニタリング調査(排出源等モニタリング調査、環境モニタリング調査)を定期的に行っております。平成25年3月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成25年4月30日

公益財団法人宮崎県環境整備公社

○排出源等モニタリング - 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	平成25年3月19日		平成25年3月19日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		宮崎県環境科学協会	
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N	0.001未満	0.001未満	0.01 g/m ³ N以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満		50 ppm以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	休炉中	80 ppm以下
04. 窒素酸化物	ppm	55		100 ppm以下
05. 一酸化炭素	ppm	10未満		30 ppm以下
06. ダイオキシン類(※1)	ng-TEQ/m ³ N	0	0.0000004	0.1 ng-TEQ/m ³ N以下

※1: ダイオキシン類の調査は、1号炉 2月4日、2号炉 2月5日、3号炉 2月25日に、株式会社静環検査センターが試料採取しました。

調査結果の評価

調査の結果、全ての検査項目で評価基準値を満足していました。



焼却溶融施設

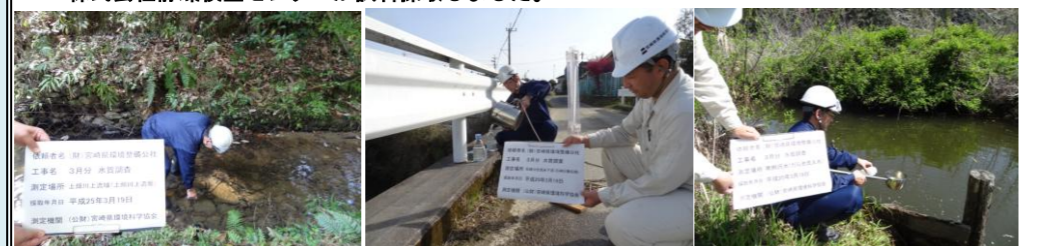
○環境モニタリング - 公共用水域(周辺河川)の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成25年3月19日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度(pH)	7.7	7.6	7.7	6.5以上8.5以下
02. 生物学的酸素要求量	mg/L	0.6	0.9	3 mg/L以下 (だら池は2mg/L)
03. 浮遊物質量(SS)	mg/L	1	10	25 mg/L以下
04. 溶存酸素(DO)	mg/L	8.6	9.6	5 mg/L以上 (だら池は7.5mg/L)
05. 大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	460	9200	5,000MPN/100ml以下 (だら池は1,000MPN)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	3.8	4.6	(参考値 mg/L)
07. 窒素含有量(全窒素)	mg/L	0.54	1.1	(参考値 mg/L)
08. 電気伝導率(EC)	mS/m	36	17	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	50	(参考値 cm)
10. 塩化物イオン	mg/L	40	12	(参考値 mg/L)
11~19. カドミウム等(※2)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	測定月でない
20~39. PCB等(※3)	mg/L	評価基準値内	評価基準値内	測定月でない
40. ダイオキシン類(※4)	pg-TEQ/L	0.026	0.026	0.063

調査結果の評価

3月の調査は、01から10及び40の検査項目について実施する予定の月でしたが、3月12日に発生した灰溶融設備室における爆発事故に伴い、11から39までの検査項目を追加して実施しました。調査の結果、石崎川無名橋で05大腸菌群数が、だら池流入水で02生物学的酸素要求量及び05大腸菌群数が、評価基準値を超えていましたが、それ以外の検査項目では全て評価基準値を満足していました。

※2: 検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀など9項目(別紙1)
 ※3: 検査項目は、PCB、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素など20項目(別紙1)
 ※4: ダイオキシン類の調査(公共用水域、防災調整池排水、浸出水調整池地下水)は、1月21日に株式会社静環検査センターが試料採取しました。



上畑川上流堰

石崎川無名橋

だら池流入水

○排出源等モニタリング - 防災調整池排水(敷地境界)調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準	
試料採取日	平成25年3月19日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.8	5.8以上8.6以下	
02. 生物学的酸素要求量	mg/L	0.8	160(日間平均120)mg/L以下
03. 浮遊物質量(SS)	mg/L	3	200(日間平均150)mg/L以下
04. 大腸菌群数	個/cm ³	30未満	日間平均 3,000 個/cm ³ 以下
05. 大腸菌群数(最確数法)	MPN/100ml	330	(参考値 MPN/100ml)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	4.0	(参考値 mg/L)
07. 窒素含有量	mg/L	0.51	120 mg/L以下
08. 電気伝導率(EC)	mS/m	40	(参考値 mS/m)
09. 透視度	cm	100以上	(参考値 cm)
10. 溶存酸素	mg/L	8.0	(参考値 mg/L)
11. 塩化物イオン	mg/L	46	(参考値 mg/L)
12~31. 鉱油等(※5)	mg/L	評価基準値内	項目により個別に設定
32~48. PCB等(※6)	mg/L	評価基準値内	項目により個別に設定
49. ダイオキシン類(※4)	pg-TEQ/L	0.0012	10 pg-TEQ/L以下

※5: 検査項目は、鉱油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など20項目(別紙1)
 ※6: 検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど17項目(別紙1)

○排出源等モニタリング - 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水	評価基準	
試料採取日	平成25年3月19日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会		
検査項目			
01. 水素イオン濃度(pH)	7.1	(参考値)	
02. 電気伝導率(EC)	mS/m	120	(参考値 mS/m)
03. 塩化物イオン	mg/L	15	(参考値 mg/L)
04. カドミウム	mg/L		0.003 mg/L以下
05. 全シアン	mg/L		検出されないこと
06. 鉛	mg/L		0.01 mg/L以下
07. 六価クロム	mg/L	測定月でない	0.05 mg/L以下
08. 砒素	mg/L		0.01 mg/L以下
09. 総水銀	mg/L		0.0005 mg/L以下
10. アルキル水銀	mg/L		検出されないこと
11. 透視度	cm		(参考値 cm)
12~32. PCB等(※7)	mg/L	測定月でない	項目により個別に設定
33. ダイオキシン類(※4)	pg-TEQ/L	0.00050	1 pg-TEQ/L以下

※7: 検査項目は、PCB、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素など21項目(別紙1)

注) 調査結果表の「未満」と表示されている値は、定量限界を下回ることです。また、「検出されないこと」とは、環境大臣が定める測定方法で測定した場合において、その結果が当該測定方法の定量限界を下回ることをいいます。(特記事項)

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所地域総務課、国富町役場町民生生活課に備え置いてあります。



防災調整池排水(敷地境界)

調査結果の評価

3月の調査は、01から11及び49の検査項目について実施する予定の月でしたが、3月12日に発生した灰溶融設備室における爆発事故に伴い、12から48までの検査項目を追加して実施しました。調査の結果、全ての検査項目で評価基準値を満足していました。



浸出水調整池地下水

調査結果の評価

調査の結果、01から03までの検査項目については、特記すべき大きな変化はありませんでした。また、33ダイオキシン類については評価基準値を満足していました。